

2. 「総合的な学習研究会」研究実践活動の経過(2000年度～2002年度)

(1) 2000年度(初年度)

当校では、既に1998年度から「総合的な学習」についての研究的な取り組みを始めていて、1999年度からは中学校において「総合的な学習」の試行を始め、1999年度では、中学校各学年とも週一時間の学校裁量の時間を当てて試行している。

これらの実績を基にして、2000年度からは、総合的な学習研究会を組織し、中・高を見通した「総合的な学習」のカリキュラム開発の実践研究に入った。

初年度は、中学校、高等学校の6年間を通した「総合的な学習」のカリキュラムの基本的な構造を明らかにして理論構成を行い、各学年のテーマ、学習の目標・ねらい、育まれる能力、中・高6カ年における学習の位置づけ、指導上の工夫とポイント、評価の観点を明らかにした具体的な年間指導計画を作成した。

授業実践については、新たに開発した年間指導計画に従って中学校の全学年において行った。

高等学校における試行的な実践は、新教育課程開始年度より2年前倒しして2001年度から行うこととした。

<初年度における主な研究活動>

I 「総合的な学習研究会」指導委員会実施(5月10日、広島大学教育学部大会議室にて)

出席者：指導委員会から、委員長をはじめ10名。

当校から会長、副会長、カリキュラム開発委員会委員の合計12名。

協議内容：本研究会の目的、組織、活動内容、研究計画について説明をし、質疑・意見交換を通して指導委員の先生方から助言を受けた。

II 「総合的な学習」研究推進委員会実施(7月9日、当校会議室にて)

[指導助言者として顧問梶田叡一先生出席]

出席者：会長、副会長、カリキュラム開発委員会委員の合計19名。

研修内容：① カリキュラムの構造と年間指導計画案について

② 各小委員会(各学年)の指導計画案について

③ 今後の研究計画について

III 第30回教育研究会実施(9月29日、当校会場)

「総合的な学習」関係では、公開授業、分科会、講演会を実施。

① 公開授業：中学校で、第1学年で1クラス、第2学年で2クラス、第3学年で1クラス実施。

② 分科会：総合的な学習研究会の組織、中高6カ年を一貫したカリキュラム開発の考え方や編成内容案について発表と協議。

③ 講演会：総合的な学習研究会顧問の、お茶の水女子大学教授無藤隆先生に講師をお願いし、「学びの拡がりをつなぐを可能にする授業」と題してご講演をいただいた。

IV 発行書籍

① 「総合的な学習 LIFE ワークブック」編集・発行

生徒の参考図書として全員に配布するものとして作成。

② 研究報告書「平成12年度研究報告書 総合的な学習」編集・発行

初年度の研究実践内容を整理し、研究報告書として発行。

③ 研究紀要 第41巻(広島大学附属福山中・高等学校)

第1部「総合的な学習」で研究成果を発表。

(2) 2001年度(二年次)

二年次は、前年度開発をしてきた理論構成と年間指導計画を基にして、前年度までの中学校に加えて高等学校においても試行的な実践を始め、実践を通して、各単元計画の中で評価の観点と方法、教科学習とのつながりなどを明らかにしてきた。そこでは、教科学習に基盤を置く考え方をより鮮明にしてきたといえる。

さらに、今年度までの研究成果を世に問う手段の一つとして、また、全国の中学校、高等学校の先生方に実践資料として利用していただくことを願って、研究内容を整理して書籍として出版した。

<二年次における主な研究活動>

I 「総合的な学習研究会」指導委員会実施(4月27日、広島大学本部会議室にて)

出席者：指導委員会から、委員長をはじめ10名

当校から会長、副会長、カリキュラム開発委員会委員の合計13名

内容：初年度の研究報告(教科学習に基盤に置き、教科と総合のつながりを考えてカリキュラムを構成したこと。)と二年次の研究計画(単元計画の考え方と評価方法)の内容について協議。

II 「総合的な学習」研究推進委員会実施(7月14日、当校会議室にて)

指導助言者：指導委員会委員長角屋重樹先生

校内出席者：校長、副校長2名、カリキュラム開発委員会委員25名

研修内容：前年度作成できた年間計画に基づいて、新たに評価の観点と方法や教科とのつながりについても加えて作成した単元計画の内容およびこれからの検討課題について各小委員会(第1～第5委員会)の委員からの説明や質問を基に協議。

III 第31回教育研究会実施(9月28日、当校会場)

「総合的な学習」関係では、公開授業、分科会、シンポジウムを実施。

- ① 公開授業：中学校の各学年1クラスに加えて、今年度は、高等学校でも高1で2クラス、高2で1クラスの中高各3クラス合計6クラスで実施。
- ② 分科会：公開授業の内容・主旨、および、中学校、高等学校を通したカリキュラム案の考え方について発表と協議。
- ③ シンポジウム：「総合的な学習のカリキュラム開発と評価」をテーマとして実施。

コーディネーターに指導委員会委員長角屋先生、パネラーに研究者の立場から指導委員会委員永田先生、他校における実践研究者の立場から兵庫県三木市立星陽中学校藤本先生、保護者の立場から当校教育助成会掛谷会長、当校カリキュラム開発委員会から高地副委員長という構成で実施した。

当校からは、教科学習に基盤をおいた考え方や、教科学習とのつながりや評価の観点と方法まで明らかにする具体的単元計画などを中心に提案した。

IV 発行書籍

① 書籍「教科とリンクする「総合的な学習」のデザインと評価」を出版

研究活動二年次は「総合的な学習研究会」による研究成果をまとめて書籍として出版することを目標としてスタートした。

原稿は、教科とのつながり、評価の観点にポイントを置いて編集することとし、7月の研究推進委員会と9月の教育研究会を出版原稿作成のためのポイントの機会と位置づけ、年度末には出版社を通して発行出来るよう進め、3月25日付で発刊することができた。

② 研究紀要 第42巻(広島大学附属福山中・高等学校)

第1部「総合的な学習」で研究成果を発表。

(3) 2002年度(三年次:最終年度)

三年次は、前年度までに開発してきた理論構成、年間指導計画、単元計画を基に中学・高校での実践を通してカリキュラム評価を行い、カリキュラムの改善に向けて一定の方向付けをすることを主たる研究テーマに据えて活動を続けた。

<三年次における主な研究活動>

I 「総合的な学習研究会」指導委員会実施(5月8日、広島大学教育学部会議室にて)

出席者：指導委員会から、委員長をはじめ7名

当校から会長、副会長、カリキュラム開発委員会委員の合計15名

内容：二年次までの研究実践報告(6カ年を見通したカリキュラム開発、年間指導計画、具体的な学習単元の開発、中学・高校を通した試行的実践内容)と三年次の研究課題および研究計画(カリキュラム評価、カリキュラム改善)について協議。

II 「総合的な学習」研究推進委員会実施(7月8日、当校会議室にて)

指導助言者：指導委員会委員長角屋重樹先生

校内出席者：副会長2名、カリキュラム開発委員会委員26名

研修内容：各学年の年間指導計画における評価の観点と方法や教科学習とのつながり、および、カリキュラム評価とカリキュラム改善を協議主題として、9月の教育研究会に向けて協議・検討。

III 第32回教育研究会実施(9月27日、当校会場)

「総合的な学習」関係では、公開授業、分科会、シンポジウムを実施。

① 公開授業：中学校は中2、中3各1クラス、高等学校は高1で2クラス、高2で1クラスの合計5クラスで実施。

② 分科会：公開授業の内容・主旨、および、中学校、高等学校を通したカリキュラム案の考え方や学習単元の内容、評価について発表と協議。

③ シンポジウム：「総合的な学習のデザインと評価」をテーマとして実施。

コーディネーターに指導委員会委員長角屋先生、パネラーに研究者の立場から指導委員会委員小原先生、他校における実践研究者の立場から三重県立桑名北高等学校の坂田先生、東広島市立高美が丘中学校の寶崎先生、当校カリキュラム開発委員会から平賀委員という構成で実施した。

当校からは、教科学習に基盤をおいた考え方や、教科学習とのつながりや評価の観点と方法まで明らかにする具体的な単元計画、および、カリキュラム評価の考え方などを中心に提案した。

IV 発行書籍

① 「総合的な学習 LIFE ワークブック」(改訂版)編集・発行

初年度に作成したものを再整理し、具体的材料を追加して実際のカリキュラムの内容に添うように再編集した。生徒の参考図書として全員に配布するものとして作成している。

② 研究報告書「平成14年度研究報告書 総合的な学習」編集・発行

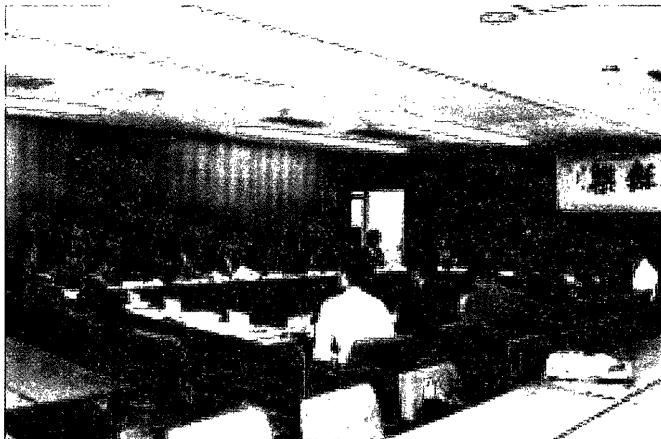
三年間の研究実践内容を整理し、研究報告書として発行。

③ 研究紀要 第43巻(広島大学附属福山中・高等学校)

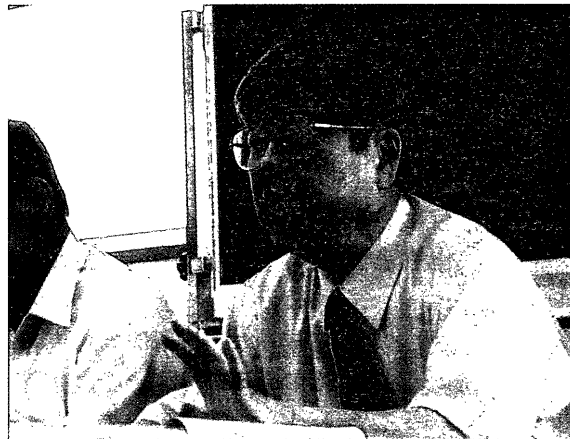
第1部「総合的な学習」で研究成果を発表。

※ 上記文中で、指導委員会、カリキュラム開発委員会等研究組織に関することについては、「総合的な学習研究会」の組織と構成(2000~2002年度)を参照。

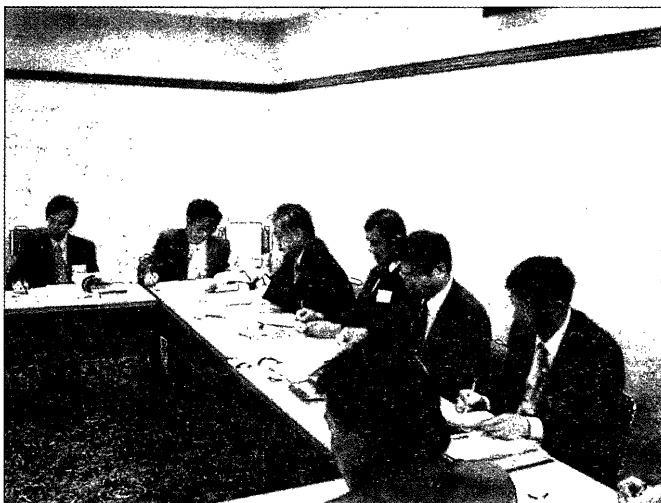
<研究活動風景>



指導委員会 (2000.5.10)



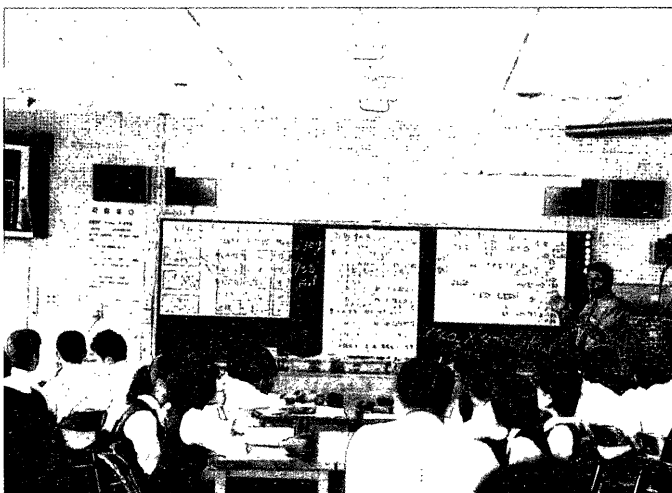
研究推進委員会 (2000.7.9) 梶田先生



指導委員会 (2001.4.27)



教育研究会 (2001.9.28) 分科会



教育研究会 (2002.9.27) 公開授業



教育研究会 (2002.9.27) シンポジウム

「総合的な学習研究会」の組織と構成（2000年度）

会 長	西村 清巳	(広島大学附属福山中・高等学校長)	
副会長	長澤 武	野口 寧文	(広島大学附属福山中・高等学校副校長)
顧 問	[全体的構成に対する助言]		
	原田 康夫	広島大学学長	
	梶田 叡一	京都ノートルダム女子大学学長	
	西川 恭治	近畿大学工学部教授	
	無藤 隆	お茶の水女子大学生生活科学部教授	
指導委員会	[研究推進委員会への提案, 指導, 助言]		
	開發 一郎	広島大学総合科学部教授	
	頼 祺一	広島大学文学部教授	
	岡東 壽隆	広島大学教育学部教授	
	角屋 重樹	広島大学教育学部教授 [指導委員会委員長]	
	小原 友行	広島大学学校教育学部教授	
	曾余田浩史	広島大学教育学部講師	
	高橋 超	広島大学学校教育学部教授	
	利島 保	広島大学教育学部教授	
	川崎 信文	広島大学法学部教授	
	吹春 俊隆	広島大学経済学部教授	
	大方 勝男	広島大学理学部教授	
	松本 堯生	広島大学理学部教授	
	木村 榮一	広島大学医学部教授	
	奈良 勲	広島大学医学部教授	
	横山 隆	広島大学医学部教授	
	赤川 安正	広島大学歯学部教授	
	柴 雅和	広島大学工学部教授	
	佐藤 清隆	広島大学生物生産学部教授	
	中山 修一	広島大学大学院国際協力研究科教授	
	永田 忠道	国立教育政策研究所	
研究推進委員会	(広島大学附属福山中・高等学校内; 以下の◎は委員長, ○は副委員長)		
	「総合的な学習」カリキュラム開発委員会		
	◎加藤 成毅	○高地 秀明	小林 京子
	平賀 博之	森 才三	竹盛 浩二
			新福 一孝
			千菊 基司
	◎竹盛 浩二	入川 義克	濱賀 哲洋
			山下 雅文
	◎平賀 博之	高橋美与子	丸本 浩
			三宅 幸信
	◎森 才三	江口 修司	大江 和彦
			金子 直樹
	◎新福 一孝	鶴木 毅	清水 浩士
			光田龍太郎
			村上 和男
	◎千菊 基司	柄本 正勝	山田佳代子
			和田 文雄
	「総合的な学習のひろば」運営委員会		
	◎高地 秀明	○平賀 博之	江草 洋和
			小林 京子
会 員	(個人の資格での参加による構成員)		全 教 官

「総合的な学習研究会」の組織と構成（2001年度）

会 長	西村 清巳	(広島大学附属福山中・高等学校長)
副会長	野口 寧文 廣澤 和雄	(広島大学附属福山中・高等学校副校長)

顧 問	〔全体的構成に対する助言〕	
	牟田 泰三	広島大学学長
	梶田 叡一	京都ノートルダム女子大学学長
	西川 恭治	近畿大学工学部教授
	無藤 隆	お茶の水女子大学生生活科学部教授

指導委員会	〔研究推進委員会への提案、指導、助言〕	
	開発 一郎	広島大学総合科学部教授
	頼 祺一	広島大学文学部教授
	岡東 壽隆	広島大学教育学部教授
	角屋 重樹	広島大学教育学部教授 [指導委員会委員長]
	小原 友行	広島大学教育学部教授
	曾余田 浩史	広島大学教育学部講師
	高橋 超	広島大学教育学部教授
	利島 保	広島大学教育学部教授
	川崎 信文	広島大学法学部教授
	吹春 俊隆	広島大学経済学部教授
	大方 勝男	広島大学理学部教授
	松本 堯生	広島大学理学部教授
	木村 榮一	広島大学医学部教授
	奈良 勲	広島大学医学部教授
	横山 隆	広島大学医学部教授
	赤川 安正	広島大学歯学部教授
	柴 雅和	広島大学工学部教授
	佐藤 清隆	広島大学生物生産学部教授
	中山 修一	広島大学大学院国際協力研究科教授
	長澤 武	広島大学高等教育研究開発センター教授
	永田 忠道	大分大学教育福祉科学部講師

研究推進委員会（広島大学附属福山中・高等学校内；以下の◎は委員長，○は副委員長）

「総合的な学習」カリキュラム開発委員会			
◎加藤 成毅	○高地 秀明	小林 京子	竹盛 浩二
平賀 博之	森 才三	新福 一孝	千菊 基司
第一委員会	◎竹盛 浩二	入川 義克	甲斐 章義
第二委員会	◎平賀 博之	高橋美与子	丸本 浩
第三委員会	◎森 才三	江口 修司	大江 和彦
第四委員会	◎新福 一孝	鶴木 毅	江草 洋和
第五委員会	◎千菊基司	池岡慎	伊藤朱
		柄本正勝	山田佳代子
		幸建司	和田文雄

「総合的な学習のひろば」運営委員会			
◎高地 秀明	○平賀 博之	江草 洋和	小林 京子

会 員（個人の資格での参加による構成員）	全 教 官
----------------------	-------

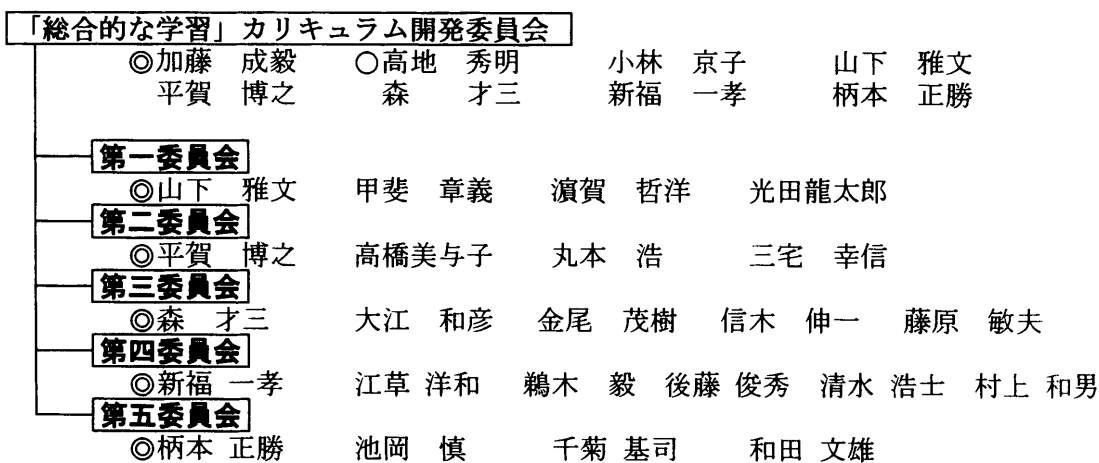
「総合的な学習研究会」の組織と構成 (2002年度)

会長	角屋 重樹	(広島大学附属福山中・高等学校長)
副会長	野口 寧文 廣澤 和雄	(広島大学附属福山中・高等学校副校長)

顧問	[全体的構成に対する助言]	
	牟田 泰三	広島大学学長
	梶田 叡一	京都ノートルダム女子大学学長
	西川 恭治	近畿大学工学部教授
	無藤 隆	お茶の水女子大学生生活科学部教授
	西村 清巳	広島国際大学社会環境科学部教授

指導委員会	[研究推進委員会への提案, 指導, 助言]	
	開発 一郎	広島大学総合科学部教授
	頼 祺一	広島大学文学部教授
	岡東 壽隆	広島大学教育学部教授
	角屋 重樹	広島大学教育学部教授 [指導委員会委員長]
	小原 友行	広島大学教育学部教授
	曾余田 浩史	広島大学教育学部講師
	高橋 超	広島大学教育学部教授
	利島 保	広島大学教育学部教授
	川崎 信文	広島大学法学部教授
	吹春 俊隆	広島大学経済学部教授
	大方 勝男	広島大学理学部教授
	松本 堯生	広島大学理学部教授
	奈良 勲	広島大学医学部教授
	横山 隆	広島大学医学部教授
	赤川 安正	広島大学歯学部教授
	柴 雅和	広島大学工学部教授
	佐藤 清隆	広島大学生物生産学部教授
	中山 修一	広島大学大学院国際協力研究科教授
	長澤 武	広島大学高等教育研究開発センター教授
	永田 忠道	大分大学教育福祉科学部講師

研究推進委員会 (広島大学附属福山中・高等学校内; 以下の◎は委員長, ○は副委員長)



「総合的な学習のひろば」運営委員会			
◎高地 秀明	○平賀 博之	江草 洋和	小林 京子

会 員 (個人の資格での参加による構成員)

全 教 官